景観まちづくりフォーラム～西部地区の町並み探訪～
開催結果（概要）

■開催日時
令和８年（２０２６年）１０月３日（土）
午後１時３０分から午後４時３０分まで



■参加者
４８名

■開催趣旨
函館市の歴史的町並みや美しい景観を再認識し，景観に対する市民意識の醸成を図ることで，函館市ならではの魅力を将来にわたり受け継ぐことを目指し，令和６年度（２０２４年度）から開催しています。
今回は，昨年度に引き続き，「まちの歴史を知り，町並みを未来へつなぐ」をテーマに，まちあるきとワークショップを行いました。

■開催内容
１　ガイダンス「西部地区の歴史と景観」
（函館市青年サークル協議会　理事長　仙石　智義　氏）
フォーラムの冒頭には，函館市地域交流まちづくりセンターにて，まちあるきへの理解を深めるための導入としてガイダンスを行いました。
仙石氏からは，古地図や古写真を使用しながら，開港に伴い異国文化を取り入れながら，大火からの復興の過程で町並みが形成され，上下和洋折衷様式の建物などが現存しているとの紹介があったほか，ガイダンスの最後には「町の歴史を読み解くこともまちあるきの楽しみの一つ。函館の未来につなげられるよう一緒に探しましょう」と呼びかけがありました。まちあるき前に，町の歴史を学ぶことで，この後のまちあるきが有意義になったのではないでしょうか。





ガイダンス終了後には，まちあるきコースごとに分かれ，まちあるきコースのテーマや見学のポイントについて説明しました。

まちあるきコースは，函館景観まちづくり協議会の構成団体と市民から公募した実行委員が協力し，本フォーラムのために考えた選りすぐりの３コースを作り上げました。

参加者は，実行委員会作成のオリジナルまちあるきマップを片手に，まちあるきに出発しました。





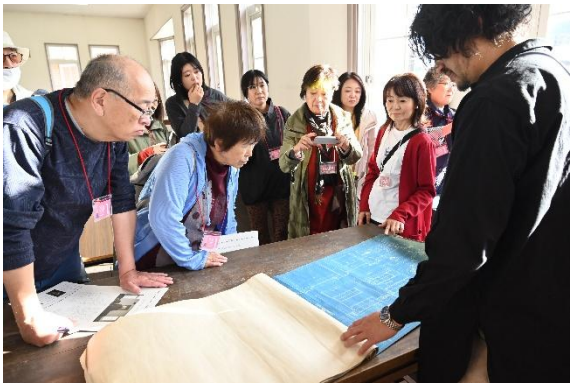
２　まちあるき

⑴ 第１コース

テーマ：函館開港の軌跡・ベイエリア
～歴史を語る建物・故きを温ね，新しきを知る～

行　程：旧リューリ商会（川越電化センター）　→旧函館海産商同業協同組合事務所（T9 HAKODATE）【内部見学】　→　NIPPONIA HOTEL 函館 港町 ほか









⑵ **第２コース**

テーマ：先人が遺した元町景観物語
～函館四天王と相馬哲平ゆかりの建物と町並み～

行　程：旧金森洋物店（市立函館博物館郷土資料館）　→　旧相馬家住宅【内部見学】　→　元町公園ほか






⑶ **第３コース**

テーマ：かわりつつある大町・弁天
～建物を活かし，歴史をつなぎ，まちをつくる～

行　程：太刀川家住宅・洋館　→　ミュージックバーＣＡＶＥ【内部見学】　→　風花日和【内部見学】ほか






３　ワークショップ

まちあるき終了後は，函館市地域交流まちづくりセンターに戻り，コースごとに，「町並みを未来へつなぐためには？」をテーマにワークショップを行いました。

参加者には，①気になった建物や町並み，②気になった建物や町並みを未来へつなぐために必要なこと，③未来へつなぐために自分にできること，の３つの視点で考えを深めていただきました。

ワークショップの後半は，各コースが一堂に会し，全体に共有しました。

①気になった建物や町並みについては，内部見学を行った建物が気になるという意見が多かったほか，第２コースでは，相馬哲平氏の「郷土報恩」の精神との意見もありました。

②気になった建物や町並みを未来へつなぐために必要なことについては，本フォーラムのように知る機会を増やすことやまちあるきの商品化，資料のデジタル化などの意見が多く挙げられました。

③未来へつなぐために自分にできることについては，本フォーラムのようなイベントに参加することや歴史的建造物を飲食店などに活用している店舗を利用すること，ＳＮＳなどで魅力を発信することのほか，募金という意見もありました。









本フォーラムでは，函館市と景観形成や観光ボランティアガイドに取り組む市民活動団体で組織する函館景観まちづくり協議会のほか，一般公募の市民のみなさんと企画・運営を行いましたが，参加者におかれましても，本フォーラムを契機に景観まちづくりへの興味・関心が高まり，景観を未来へつなぐための新しい一歩を踏み出していただけたなら幸いです。